

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	吉田 直樹
フリガナ*	ヨシタ ナオキ
所属団体*	公益社団法人小松青年会議所
活動内容* (200文字以内)	<p>日本は、高齢者が増加するにつれ高齢者の交通事故が社会問題化しています。しかし、都市部と違い、地方は自動車が生活の支えとなっており免許返納した途端に代替の交通手段がありません。また、バス路線は、全国の約9割が赤字であり、路線の廃止が続く状況です。私は、高齢者が自分で運転しない社会をつくるため「誰も気兼ねなくお出かけできるまち」を目指し、民間主導型で持続可能な社会を目指しています。</p>
活動カテゴリ*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()
紹介者氏名 紹介者がいる方は記入	押野 了享
紹介者所属団体	公益社団法人小松青年会議所 (石川ブロック協議会 会長)
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか?*	青年会議所会員からの推薦 (小松青年会議所) ・ ホームページ ・ フェイスブック ・ チラシ ・ メディア () ・ その他 ()
紹介理由 (200文字以内) ※紹介者がいる方は 記載をお願い致します。	<p>関東で勤務し地元に戻り、この地域の問題点を目の当たりにし、この地域をどうにかしたいという想いを青年会議所入会前より持っていました。地域貢献とともに社会に対するインパクトあるビジネスを模索する中で、学生や地域経済人と何度も議論、検討している姿を身近に見てまいりました。その活動がJCメンバーやシニア、企業や行政も巻き込み大きくなろうとしています。その知恵と行動力は称賛に値すると思い紹介致します。</p>

■PR活動（全200文字以内厳守）

<p>顔写真*</p>	
<p>経歴 (200 文字以内)</p>	<p>2010年 NTTグループにて公共事業営業企画担当に従事 2014年 消防庁防災情報アドバイザー認定(全国の市町村に防災アドバイザーとして派遣) 2016年 ITコーディネータ取得 2017年 株式会社イージー設立 2018年 小松青年会議所入会 2019年 NECソリューションイノベータとイージーが共創パートナー契約締結 日本青年会議所北陸信越地区石川ブロック協議会SDGs関係委員会委員長</p>
<p>活動PR1* (200 文字以内)</p>	<p>ニーズ調査を実施し、バスは、買物した荷物をもって歩くことが大変、タクシーは、高額であるという課題がありました。そのため、自宅前から目的地前まで行け、年金生活者でも利用できる料金体系にすることが必要です。既存活用で検討するとタクシーの相乗りサービスに近いビジネスモデルです。しかし、問題点が2点(ドライバー高齢化、相乗りでも高額)あり解決策が難しい状況でした。</p>
<p>活動PR2* (200 文字以内)</p>	<p>新たな交通網の構築が必要であるため、内閣府や国土交通省、経済産業省に通い、「交通空白地域の緩和」を2020年5月法律改正が行い、新しいサービスを創り出すことができる道が見えてきました。そのため、NEC ソリューションイノベータと共に IT サービスの開発と新しいビジネスプランの作成を実施しました。</p>

<p>活動PR3 (200文字以内)</p>	<p>2019年12月～2020年3月に石川県小松市国府地区にて無料送迎の社会実験を実施し、約200名の会員と約20名のドライバーに参加してもらい、ニーズ調査やITサービスの実証を実施しました。この実験に参加した2名が免許返納を実施してもらうことに成功しています。2020年度は、経済産業省の地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業に参加し第二実証を実施する予定です。</p>
<p>SDGsのゴールとターゲット番号及び結びつきの説明 ※SDGsの取り組みをしている方は記載をお願い致します。</p>	<p>番号の記入(11 住み続けられるまちづくりを) (11. 2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。) 説明(ターゲットに記載あるとおり交通弱者がいなくなる社会を創り出すことも目指します。)</p>

■質問事項(全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください 地方は、さまざまな課題が存在しています。何から解決すべきか検討を実施し、本質的な課題であり且つ全国で課題になっているものを実施すべきだと思い、全国30都市の中期ビジョンをマトリックス化し、地域の2次交通網を解決する活動を実施することにしました。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン) 「誰もが気兼ねなくお出かけできるまち」をコンセプトにし、交通弱者がいない社会、交通事故がない社会を目指していきます。高齢者が気兼ねなく外出することが「健康寿命の増える」「地域の経済効果」などさまざまなまちづくりへのプラスに働くと考えます。例えば小さな美容院では移動ができない常連客が来なくなったことがあります。小さな商店が持続可能にするためには交通網が必要です。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション) 自治体主導の発想に頼らず、民間企業が主導になって実施しています。それによりマネタイズをどうすべきか徹底的に考え継続ビジネスモデルの構築を検討しています。また、民間企業だけで無料送迎の実証実験も実施し、ニーズ調査とITサービスの構築を実施しています。事業化には、許認可が必要であるため、各県庁での意見交換を実施し、許認可に向けた活動も実施しています。</p>
<p>質問4* (200文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト) 実証実験を実施したことで2名の高齢者が免許返納してくれました。また、利用した90%以上がこのサービスを有償で実現してほしいと要望してくれています。また、アルバイトでドライバーを募集した結果平均年齢39歳とタクシードライバーより大きく下げる結果のアルバイトが集め、地域にたくさんの協力者いることわかりました。女性も7名ドライバーとして参加し、新たな活躍の場所となりえます。</p>
<p>質問5 (200文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください 自分が想像する世界に向けてどのように実現するか、自らがその道しるべとなることだと思います。社会を変えることは1人ではできないので多くの仲間が必要です。多くのメンバーが共感でき、共に創り出すために誰よりも率先して活動を実施することであると思います。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

<p>ブロック名*</p>	<p>石川ブロック協議会</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>公益社団法人小松青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>理事長</p>

担当者氏名*	西 功太郎
フリガナ*	ニシ コウタロウ
推薦理由* (200 文字以内)	ITという専門分野を生かした発想で、常に地域社会の抱える課題に着目しながらその解決に近づくためのビジネスを進めている。着目している課題は一地域だけにとどまるものではなく、日本国内の多くの地域で共通している課題であり、地域発の社会イノベーションを志している傑出した青年であるとして推薦する。